

地域のお便り

**東名高速道路
スマートICでもっと便利に!**

YAMAZAKI SHINNOBUKE

完成イメージ図

去る2月13日、新東名高速道路の浜松いなさJCT～豊田東JCT間(約55km)が開通しました。これによって、新東名が益々快適になるとと思われますが、東名も負けてはいません！

というのも、三方原スマートインターチェンジと館山寺スマートインターチェンジの完成が、約1年後に迫ってきているからです。この2つの事業は、私の市議時代から要望が出されていた念願であって、平成25年に国土交通省の許可を得た後、工事が進められています。特に、三方原スマートICは中心市街地まで車で16分という位置にあるため、利用者のアクセス向上に貢献しますし、物流の効率化や災害時の救援・復旧活動の迅速化など、様々な効果が見込まれています。

こうしたチャンスを、地域の活性化に繋げていきたいですね！

活発な議論を！浜松新野球場構想

新聞やテレビ報道でご存知かと思いますが、浜松市遠州灘海浜公園(篠原地区)の基本計画策定予算のうち、野球場整備に関わる部分が、県議会によって減額修正されました。これは、県政史上初めてのことです。

市民県民にとっては、唐突に野球場が出てきたという思いを抱かれる方も多いのですが、実際には、昭和49年度に都市計画決定された後、毎年度、篠原地区への公園整備の要望は出されており、野球場という言葉も平成23年度から登場していました。これは、市営球場も含めて、老朽化の進む四つ池公園の再整備と深く関係しているためだと考えられます。したがって私は、この公園整備とともにスポーツ振興、地域活性化の好機が失われたことを残念に思います。

しかし、この一件を政局などで終わらせてはなりません。多少時間がかかるとしても、市民県民の理解をしっかりと得て、将来を考えた上でどういう構想が望ましいかの議論を成熟させていく、そんな契機にしていく必要があります。



第11号の発行にあたり

新年度、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

振り返ればちょうど1年前。再選をかけた選挙を終え、2期目のスタートを迎えたのがこの4月でした。この1年間、1期目と比べてより早く、より忙しく過ぎ去っていった気がしていますが、それだけ周りに恵まれていたのだと思います。

もちろん、まだまだやることは沢山あります。議会内でも、会派内でも、地域でも、より一層存在感を増していくよう努めて参りますので、どうぞ今年度も宜しくお願ひ致します。

山崎真之輔



山崎真之輔プロフィール

- ◆ 34歳三児の父親
- ◆ 浜松北高等学校、名古屋大学法學部卒業
- ◆ 元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- ◆ 浜松市議会議員(2期6年間)
- ◆ 静岡県議会議員(2期目)
- ◆ 所属会派: ふじのくに県民クラブ
- ◆ 所属委員会: 企画くらし環境委員会(副委員長)
地方分権推進特別委員会

しんのすけ活動記録

1月10日	飯田・相生小地区成人式
1月12日～13日	会派街頭県政報告会
1月12日	次代を担う若者たちによる県民会議
1月14日	地方分権推進特別委員会
1月14日、21日、29日	いじめ防止条例PT 関係団体ヒアリング
1月19日	常任委員会 県内視察
1月20日	情報化施工建設現場見学会
1月24日	静岡県学童保育研修集会
2月 2日～3日	全国青年都道府県議会議員の会 シニアクラブ研修会
2月14日	県民オペラ鑑賞
2月22日～3月17日	県議会2月定期会
3月 3日	議会運営等改善検討委員会
3月 8日～9日	企画くらし環境委員会
3月15日	静岡文化芸術大学卒業式
3月16日	浜松市立東部中学校 同窓会設立総会
3月18日	相生小学校卒業式
3月19日	浜松修学舎卒業式
3月23日	馬込川河口津波対策技術検討委員会
3月25日	ラグビーW杯開催推進委員会

浜松市と静岡県を結ぶ!!若きカジュアル政治マガジン

静岡県議会議員

山崎しんのすけ

第11号 通信

平成28年4月発行

本気が違う!!

山崎しんのすけ事務所 | 〒430-0852 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ 検索



議会・地元・ いじめ防止条例

平成28年度がスタートしたところですが、昨年度の1月～3月にかけては、大変忙しくも充実した日々を駆け抜け参りました。特に、本年度の予算を審議する県議会2月定期会では、これから静岡県をどう発展させていくかを真剣に議論しましたし、年度末には地元で多くの行事も開かれました。

さらに、わが会派「ふじのくに県民クラブ」が進めている「子どもいじめ防止条例」の策定も順調で、条例案について超党派で議論する「検討委員会」の設置も決まり、私もそのメンバーとして選ばれました。会派内での議論に加えて、若者からの意見聴取、関係団体ヒアリング、先進事例の調査など、これまで条例策定に向けて奔走してきたことを無駄にしないよう、本年度中の可決を目指して参ります。

ぜひ、平成28年度の活躍をご期待ください！！



今年の夏のシャツはもうご購入済みですか？

静岡県では、県産品の地産地消を促し、地場産業と地域商業の活性化を図ることを目的として、毎年「ふじのくにシャツ」を認定しています。先日、その発表会が開催され、私も勝手にリポートしてきたんですが、今年の

認定を受けているのは…①はままつシャツ、②むしゃ、③島田帯シャツ、④焼津魚河岸シャツの4種類でした。どのシャツも涼しげで、これから夏シーズンにピッタリ！！皆さんも、「ふじのくにシャツ」でクールな夏を過ごしませんか！？



平成28年度 “ふじのくに”づくりの総仕上げを!

県議会2月定例会での積極的な審議の結果、平成28年度一般会計予算の総額は約1兆2409億円となり、前年度の当初予算と比較して約12億円の増となりました。また、県税収入は、好調な企業収益や税制改正の影響で約4960億円となり、5年連続の增收を見込んでいます。

県ではこれを受けて、平成28年度を“ふじのくに”づくりの総仕上げの一年と位置づけ、バランスのとれた積極的な事業を展開していくことになります。以下に、その重点的な取り組みを紹介します。



富士山世界遺産センター イメージ図

世界にはばたく3つの戦略

PICK UP 1 • スポーツを通じた交流の拡大とスポーツ王国しづおかの復活

PICK UP 2 • 新しい地域外交の展開 • 農林水産業の競争力の強化

PICK UP 1

近年の静岡県のスポーツ界に復活の兆しが見えてきました。それは例えば、五郎丸選手によって飛躍を遂げたラグビーや東京五輪での自転車競技の伊豆開催が決まるなどが挙げられます。

特にラグビーについては、2019年のW杯が本県のエコバでも開催されるため、3月下旬に、私も参与となる静岡県開催推進委員会も立ち上がりました。こうした好機を生かし、スポーツを軸にした地域活性化を進めていきたいと思います。

ただ、スポーツの醍醐味は大きいものだけではありません。生涯スポーツや地域スポーツこそ、私たちの生活に触れる大事な役割をもっています。そんな中、学校の部活動に関しては、子どもの数が減ってきたり指導者が確保できなかったりと、課題が顕在化してきました。

そこで県では、「地域スポーツクラブ」を創設し、自治体と地域と学校が連携して、子ども達に多様な手段でスポーツの機会を提供することになりました。まずは3年間、磐田市をモデルとして行っていきますが、今後の行方が非常に楽しみですね。



PICK UP 2

これまで、全国でも珍しい「地域外交局」という組織をもっていた静岡県ですが、今年度からはそれをさらに知事直轄組織として再編。トップマネジメント機能を最大限に発揮しつつ、部局横断的な対応が一層強化されることが期待されます。

特に力を入れていくのは、中国、韓国、モンゴル、台湾、東南アジア、米国を中心とした経済交流の拡大と通商の促進。成果を多くの皆さんにご理解頂けるよう、これからが本当の勝負です！



後期アクションプランを推進するための8つの取組

1 大規模地震への万全の備え
地震・津波対策、住宅・建築物の耐震化など



2 内陸のフロンティアを拓く取組
「茶の都」づくりの推進、富士山静岡空港新幹線新駅など



3 新成長産業の育成と雇用創造
産業成長戦略の推進、耕作放棄地対策など



4 人口減少社会への挑戦
移住・定住の促進、少子化対策など



5 5 多彩な人材を生む学びの場づくり
グローバル人材の育成、静岡式35人学級編制など



6 富士山を活かした地域の魅力づくり
富士山世界遺産センター、ふじのくに地球環境史ミュージアムなど



7 健康寿命日本一の延伸
医療人材の育成・確保対策の推進、健康寿命日本一の奪還など



真の目～「議会=時代遅れ」を開拓せよ！～

今定例会で、マスコミ・メディアは、こぞって浜松市篠原地区への野球場建設についての報道を続けました。もちろん、これは浜松市から長年にわたって要望されてきたビッグプロジェクトですし、大事な案件に間違ひありません。

しかし、残念ながら私たち県民は、その議論のやり取りを即座に詳しく知ることができません。なぜならば、こうした大事な話を議論する場である「委員会」が、今時インターネット中継（録画すらも）されていないからです。

そうなると、どうなってしまうのか？情報を入手するのに頼りになるのは、新聞かテレビということになります。すると、マスコミ・メディアが一部分を切り取った報道をすることによって、県民の皆様に誤った認識を植え付けてしまう可能性が生じてしまうのです。実際に、冒頭の野球場の話も、委員会ではすごく良い意見も交わされていたのに、世間では「また川勝知事と自民党が対決してる」的なイメージばかりが膨らんでしまうということなんです。

では、こういう事態を開拓するにはどうしたら良いのでしょうか？それは、「開かれた議会」をトコトン突き詰めていくことだと思います。現在静岡県議会では、2年間かけて「議会運営等

改善検討委員会」というものを設置し、私もそのメンバーとして色々と発言させて頂いています。数の力で及ばないため、なかなか思うようにいきませんが、それでも過去には、本会議の一問一答方式を導入したり、対面方式にしたりと、それなりの実績を積んで参りました。

しかし、今期設置されたこの検討委員会では、まだ何の成果も上がっていません。私たちが提案した「県民と語る会」の実施、「委員会のインターネット中継」の実施、「通年議会」の実施、議会事務局機能の強化など、ことごとく自民党さんの慎重姿勢によってお蔵入りとなってしまったからです。

それでも先述のように、リアルタイム（あるいは録画で）本当の情報を得るために、委員会のインターネット中継は是非行うべきです！また、これについてはアンケートも取り、回答者の7割が50歳以上だったにもかかわらず、その7割が必要性を認め、さらに半数が「実現したら見る」とお答えになっています。加えて、費用の面も工夫次第で抑えることも十分に可能です。

この夏からは、18歳選挙権が始まります。議会から、若者への主権者教育だの投票環境改善が大事だの、色々と注文が出ていますが、一番頑張らなきゃいけないのは政治家・議会です。

「議会=時代遅れ」。
この現実を開拓するため、
皆さまからの声を
是非お寄せください!!



しんのすけ
アプリ
増殖中!!



おかげさまで、「しんのすけアプリ」の登録者数が200名を超えました！身近な政治の情報をタイムリーにお届けしていますので、まだ未登録の方は、是非お試しください！

アプリは
こちらから！

主なコンテンツ

- ・プロフィールや政策、写真集
- ・しんのすけチャンネル（ブログ・テレビ・ラジオ・機関誌・漫画）
- ・新着☆情報、議会録画中継

